



4月24日から知多地区では総合体育大会バスケットボール競技地区予選が始まった。東浦高校は第一回戦、阿久比高校と対戦した。第1ピリオドを8点リードで終えたが、第2ピリオドで苦しい展開となり、相手にリードを許した。しかし、後半が始まってすぐ、3ポイントなどで効率的に得点を取り、流れを呼び寄せ、最終的には75-60で勝利を収めた。

二日目はシード校である常滑高校との対戦となった。序盤から展開の速いオフENSEを仕掛ける常滑高校に対して苦戦を強いられる展開となり、前半に許したリードを縮めることができず、悔しい敗戦となった。しかしシード校である常滑高校に対して最後まで果敢に攻め続け、実りの多い1試合となった。